法医学　２００８年度　追再試

検案書３題＋おまけ問題（検案書だけで１００点分、おまけ問題は底上げ用）

１、

浅生太郎。路上で腹から血を流して倒れているところを通行人が発見。すでに死亡していた。死因は医学的に矛盾がなければすべて正解とする。

解剖所見：上腹部に凸レンズ形の刺創が一つある写真と、腹腔内が開けられて、出血多量所見がみられる写真の２つ。

＊死因の例：上腹部の刺創→肝臓損傷→腹腔内出血

２、

陣内友則。妻と旅行から帰ってきた夜、体調が悪くて夕食をとらずに就寝。翌朝妻が目覚めて起こしても、反応がない。急いで救急車を呼んだがすでに死亡していた。

解剖所見：心臓の輪切りの写真で心臓後壁の一部が白っぽくなっているもの（どっちが後壁か前璧かは示してあった）と、右冠状動脈がつまっている写真の２枚。

ほかに、諸臓器のうっ血以外には異常はみられなかった。

＊死因の例：右冠状動脈の閉塞→心筋梗塞

３、

春名あい。娘が亡くなり、それが自分のせいだと思いつめる。夕方に買い物に行ってくると自宅をでたきり帰ってこず、夫が携帯に電話をしても電源を切られてつながらない。翌朝、相模湖警察署から連絡が入り、車内で死んでいるとのこと。

車内には七輪で練炭を燃やしたあとがあり、また、～～（？）（硫黄ガス系のもの）もあった。財布の中に～～を買ったレシートがあった。

解剖なし。死亡推定時刻を予測する項目以外の他の所見はあえて一切書いてない。

全身に鮮紅色の死斑がみられる写真が１枚。

＊死因：急性一酸化炭素中毒

（このページいらないかも＾＾；）

４、DNAの問題（おまけ）

親子鑑定を行った。男１と男２、どちらが父親である可能性が高いか？理由も述べよ。

母、子、男１、男２それぞれについて、太細、間隔が様々なバンドが縦に並んだ図あり。

→おそらく、子のバンドの位置と一致するバンドの数が多い方が父親の可能性が高い、ということだと思われる

採点方法は、検案書３題各問題における平均点を割り出して出来具合をみてから３問の配点を決めるとのこと。